

東北大学全学教育科目
情報基礎 A

第1回 オリエンテーション

担当：大学院 情報科学研究科
塩浦 昭義

端末の起動



情報教育用計算機システムの利用

Login (ログイン)

正規利用者がシステムの利用開始を伝える手続き
利用者番号とパスワードによる利用者認証が必要

Logout (ログアウト)

システムの利用を終了する手続き

利用者番号と初期パスワードの作成

配布資料

授業で最初にやるべき事 (学生編)

1 利用者番号と初期パスワードについて

教育用電子計算機システムを利用するためには、利用者番号と初期パスワードが必要です。

- 利用済みの場合、学籍番号 (アルファベットは小文字) を利用します。
- 利用済みの場合、2桁の学籍番号により算出します。算出方法は、裏面を参照して下さい。

2 教育用電子計算機システムにログインする

利用済みの場合、学籍番号とパスワードを入力することで、また、学籍番号が利用済みの場合に設定されている User/Password 番号および User 番号を判別することになります。その際に学籍番号が利用済みの場合、学籍番号 (アルファベットは小文字) を利用します。学籍番号とパスワードとは、大文字と小文字の両方の組み合わせで入力してください。

3 受講登録を行う

1. ログインが完了した後、画面右上の「アカウント管理」ボタンをクリック (Mac/Windows) または「アカウント管理」ボタンをクリック (Linux) から「アカウント管理」をクリックします。すると「アカウント管理」の画面が表示されます。そこで「学籍番号」の欄に学籍番号を入力し、「パスワード」の欄にパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックして登録を行います。
2. ログインに成功すると、画面右上の「アカウント管理」ボタンをクリックします。学籍番号の欄に学籍番号を入力し、「パスワード」の欄にパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックして登録を行います。ここで、学籍番号とパスワードの欄に学籍番号とパスワードを入力して登録を行います。
3. 次に、学籍番号とパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックして登録を行います。学籍番号とパスワードの欄に学籍番号とパスワードを入力し、「保存」ボタンをクリックして登録を行います。

1 利用者番号と初期パスワードについて

教育用電子計算機システムを利用するためには、利用者番号と初期パスワードが必要です。

(例)

学籍番号: A6JB1230 生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ) 出身高校所在地: 富山県

- 利用者番号には、学籍番号 (アルファベットは小文字) を利用します。

利用者番号は [a6jb1230]

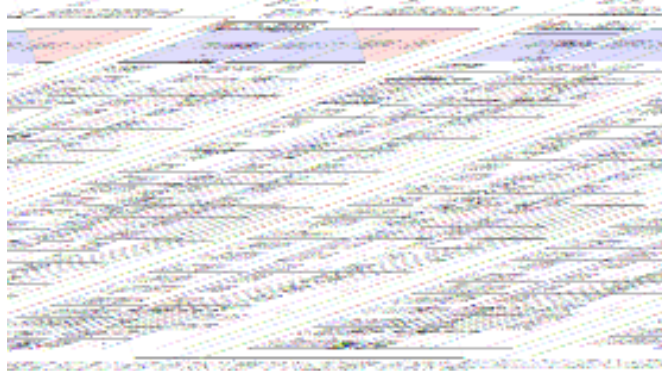
- 初期パスワードは、各自、手計算により算出します。算出方法は、裏面を参照して下さい。

初期パスワードの算出

(例)

学籍番号: A6JB1230 生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ) 出身高校所在地: 富山県

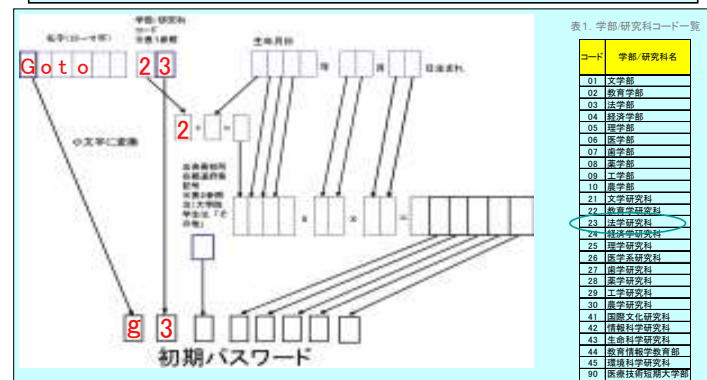


初期パスワードの算出

(例)

学籍番号: A6JB1230 生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ) 出身高校所在地: 富山県

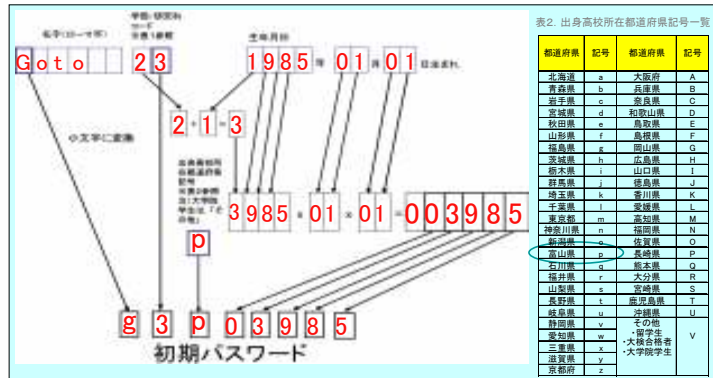


初期パスワードの算出

(例)

学籍番号: A6JB1230 生年月日: 1985年1月1日

名前: 後藤(ゴトウ) 出身高校所在地: 富山県



WINDOWS, LINUXへのログイン

開放時間 8:50~17:50
MacOS端末

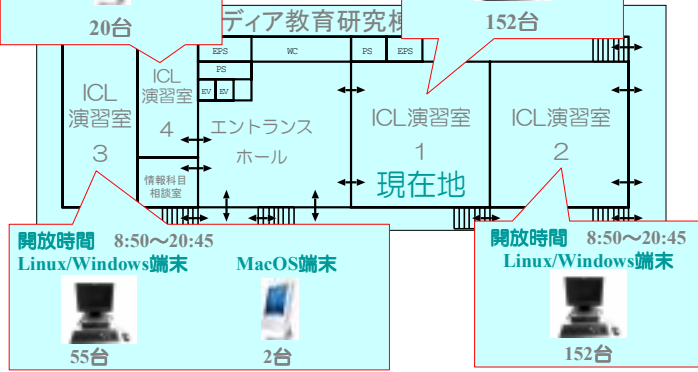


20台

開放時間 8:50~17:50
Linux/Windows端末



152台



初期パスワードの変更

簡単な個人情報が入手できれば, 他人でも容易に生成できるので, 初期パスワードのまま放置するのは非常に危険.

本人にとって忘れ難く, かつ他人から容易に推測されなさそうなパスワードに変更する!

- 自分の頭にのみ記憶させる, 紙などに記録するのは×
- 極端に短い文字列, 単純な文字列は×
- 誕生日など, 推測されやすいものは×
- 他人に教えるのは絶対×

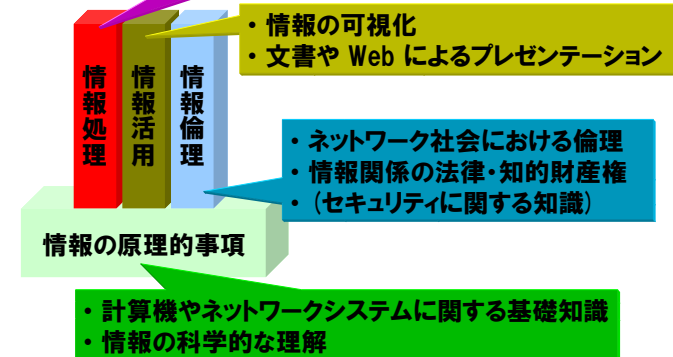
講義目標

高度情報社会を生きるにあたって、コンピュータサイエンスの知識に裏付けられた強い情報対応能力を養得するとともに、情報に関わる科学や技術と人間との関係に理解を発見する能力を獲得する。

情報基礎 A 講義概要

目的

- ・問題解決の技術
 - ・数学的な解決方法の構築
- する基礎体力の習得



なぜ、Linuxを使うのか？

大学の授業は 街中のパソコン教室 ではない!!

将来、MS-Windows に代わるシステムが広がってくる可能性は十分にある。(例: MacOS, Linux, Solaris)

→ 特定のシステムにのみ適応する能力しかないと、もはやついていけなくなる。

重要なのは...

システムの違いに依存しない、普遍的な概念を理解する能力
未知のシステムにも適応できる能力の獲得

今後の予定

- 第2回目 (4/17, 4/23)
 - システムの基本操作
- 第3回目 (4/24, 4/30)
 - ネットワークの仕組み・サービスの利用
- 第4回目 (5/1, 5/7)
 - 統計処理(1)
- 第5回目 (5/8, 5/14)
 - 統計処理(2)
- 第6回目 (5/15, 5/21)
 - 文書の作成

下記のWebサイトも参照のこと

<http://www.dais.is.tohoku.ac.jp/~shioura/teaching/infoA08/>

出席 評価の対象であり出来るだけ参加することをすすめる
ただし、**3回以上欠席の場合は単位は不可**とする

レポート ほぼ毎回の授業毎にレポート課題を出すので
出来るだけ（中途半端でも構わないので）提出すること
ただし、**3回以上未提出の場合は単位は不可**とする

成績 レポートの提出回数とその内容、
及び出席状況による評価
合計100点満点

質問など 学籍番号と氏名を明記の上、電子メールで
shioura@dais.is.tohoku.ac.jp

教科書など 利用の手引き Digital Campus 2008

講義ノート
<http://www.ise.he.tohoku.ac.jp/notes/notes.html>

注意！印刷可能枚数は120枚／半年



復習コースの開講

案内 <http://www.ise.he.tohoku.ac.jp/notice/seminar.html>

塩浦担当の講義のHP

レポートや今後の予定については下記のサイトを参照

<http://www.dais.is.tohoku.ac.jp/~shioura/teaching/infoA08/>

その他

実習室の利用

講義中でない実習室は自習に使うことができます。
(実習室開放時間帯に注意)

テクニカルアシスタント (TechA)

情報科目相談室に常駐しており、利用者の相談に
応じています。

